

安全報告書

- 2012 -



アルピコ交通株式会社

この安全報告書は、当社における鉄道輸送の安全の確保のための取り組みや安全の実態をまとめたものです。ご意見・感想をお寄せ下さい。

1. 安全報告書の公表にあたって

日頃、鉄道上高地線をご利用いただきまして誠にありがとうございます。

また鉄道事業に対して、ご理解とご協力を賜り重ねてお礼申し上げます。

弊社は、安全で安心できる鉄道輸送を目指し、日頃から安全を最優先にして取り組んでおります。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、平成23年度に実施した輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について公表するものです。皆さまの積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。



アルピコ交通株式会社

代表取締役社長 古田 龍治

2. 輸送の安全確保に関する基本的な考え方

(1) 安全基本方針

当社の経営理念の第一は、「安全・安心」の提供です。安全管理規程において「安全基本方針」を次のように掲げ、役職員に周知・徹底し、安全輸送に努めております。

- ① 一致協力して輸送の安全確保に努める。
- ② 輸送の安全に関する法令及び規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行する。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努める。
- ④ 職務の実施に当たり、憶測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをすること。
- ⑤ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとる。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

(2) 23年度の目標・方針・重点安全施策

次の目標・方針・重点安全施策を掲げ、全員周知する中で目標達成に向け取り組みを行いました。

◎ 目標：「責任事故ゼロ」の継続

◎ 方針：「安全・安心」提供するため、一致協力して輸送の安全確保に努めます。

重点安全施策

1. 教育・訓練の充実

平成23年度の鉄道係員教育・訓練実施計画に基づき実施し、習熟度を高めていきます。

2. 基本動作の厳守

決められた動作を各々の立場で適切に実施します。

乗務員・駅係員・運転指令員・技術係員

3. 保守点検の適切な実施

検査は検査心得に基づき適切に行い、検査結果を判定し相応な処置を実施し、障害発生等の未然防止に努めます。

4. 不測事態発生時の的確な対応

人命救助を最優先し、相互に協力して、速やかに安全かつ適切な処置を行います。

5. 労働災害の撲滅

身の廻りに注意を払い、潜む危険を見つけ出し対策を講じていきます。

6. 再発・未然防止

ヒューマンエラー・ヒヤリハットなどの事象については些細なことも報告し、原因・背後要因などを検証すると共に、全員が情報を共有し事故防止に努めます。

7. コミュニケーションを大切に

意思の疎通を図る中で「何でも話し合える・明るい職場」を築きます。

(3) 目標に対する実績

23年度も、昨年度に引き続き安全目標を達成することができました。

列車事故・人身事故の発生はありませんでした。

3. 輸送の安全の実態

(1) 鉄道運転事故

鉄道運転事故はありませんでした。

年 度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
事故件数	0	0	0
死傷者	0	(1)	0
うち死亡者	0	(1)	0

* (1) は自殺 1 件

(2) 災害（地震・暴風雨などによる鉄道施設への被害）

自然災害による鉄道施設への影響は、ありませんでした。

(3) 輸送障害（30分以上の遅延や運休）

輸送障害が2件発生し、お客様にご迷惑をお掛けいたしました。

項 目	件 数	特記すべき輸送障害
自然災害など	1	平成 2 3 年 6 月 3 0 日 松本で震度 5 強の地震が発生 全線の安全確認が出来るまで運転中止。 運休時間 8 : 16 ~ 11 : 39 バス代行輸送延べ 6 台 影響人数 4 0 0 人
設備障害など	1	平成 2 3 年 1 2 月 2 4 日 上海道踏切付近のき電線が腐食のため断線し垂下。 運休時間 5 : 56 ~ 7 : 29 バス代行輸送延べ 13 台 影響人数 1 0 0 人

(4) インシデント（事故の兆候）

国土交通省へのインシデント報告はありませんでした。

(5) 行政指導等

国土交通省からの行政指導はありませんでした。

4. 安全確保のための取組み

(1) 設備の整備状況

設備の老朽化による改修・更新及び新設等の設備投資は次のとおりとなります。

◆設備改修工事

○A T S新設

波田駅

○自動閉そく装置更新

松本駅及び信濃荒井駅

○継電連動装置更新

松本駅及び信濃荒井駅

○踏切保安設備更新

西松本踏切、渚停留所踏切

荒井駅構内踏切、島立通学路踏切

新村駅島々寄踏切、煙草屋裏踏切

○障害検知装置更新

奈良井川土手踏切

○通信ケーブル張替

新村～三溝間

○通路警報機更新

波田駅

○道床厚増・交換

下島～三溝間

○まくらぎ交換

大庭～波田間

○バラスト止め設置

新村～三溝間

○駅舎・トイレ建替、スロープ設置

新村駅、三溝駅、森口駅、波田駅

○車両

2 編成4 両について、法令で定められている重要部検査を実施しました。



通信ケーブル張替工事



電車重要部検査（車輪交換）



駅舎建替（新村駅）

(2) 踏切の安全対策

踏切の総数は54箇所（平成23年3月31日現在）となっています。

内訳

第1種踏切道（警報機・遮断機付き）47箇所

第3種踏切道（警報機付き）1箇所

第4種踏切道（警報機・遮断機無し）6箇所

23年度は、老朽化した踏切保安設備（6箇所）の更新を実施いたしました。

(3) 教育・訓練など

従事員に対する教育や訓練は、年間教育・訓練計画に基づき実施しています。

本年度は、非常時対応訓練（脱線復旧訓練・火災発生）、故障時対応訓練（信号・車輛）、異物発見時の対応を実施して通報・処置方法などをチェックし、不備な点については再教育などを行い、質の向上を図り、緊急時対応に備えています。

技術職場では、協力会社を含めた合同安全講習会を開催し、事故事例、触車事故事例・労働災害などの研究や検討を行い、事故防止に努めています。

技術研修として、北陸信越鉄道協会主催による第7回安全対策教育指導研修会に参加して「信号設備の保守・点検」をテーマに講習を受け、検査・修理方法等の技術、知識の向上に役立てています。

適性検査については、精神機能検査・身体機能検査を随時実施しています。



消火訓練（JR 松本駅合同）



脱線復旧訓練

(4) ヒューマンエラー、ヒヤリ・ハット事案への取組み

ヒューマンエラー、ヒヤリ・ハット事案が発生した時は、報告書の提出を求め、これを事業所内で共有化し、事故の発生を未然に防ぐ取組みを行っています。

外的要因もありますが、「考え事をしていた」「ボーとしていた」「判断の甘さ」などの緊張服務に欠けた点でも発生しています。これらの要因・原因を個々に明らかにし、事故防止に繋げています。

(5) 各安全運動の取組み

- | | | |
|---------------------|--------|-------|
| ・ 春の全国交通安全運動 | 5月11～ | 20日 |
| ・ 安全輸送・サービス向上強化旬間 | 8月 1～ | 16日 |
| ・ 秋の全国交通安全運動 | 9月21～ | 30日 |
| ・ 年末年始安全輸送に関する安全総点検 | 12月10～ | 1月10日 |

各安全運動を契機に「安全・安心」提供するため、一人一人が何をすべきか確認し取組みました。又、安全総点検運動中は、経営トップが職場を巡回し、実施状況の確認や指示を行いました。

実施項目は次のとおりです。

- ・ テロ、列車妨害防止対策による車両、施設、沿線の巡回
- ・ 車輛、線路設備、構造物、電気設備の点検整備
- ・ 乗降の際の利用客の監視・指導などの安全確保
- ・ 確実な点呼の実施（健康状態、アルコールチェック、指示事項）
- ・ 規程類、事故事例の学習、非常・故障訓練の実施
- ・ 基本動作の確実な励行
- ・ 経営トップの職場巡視

(6) 列車妨害の発生

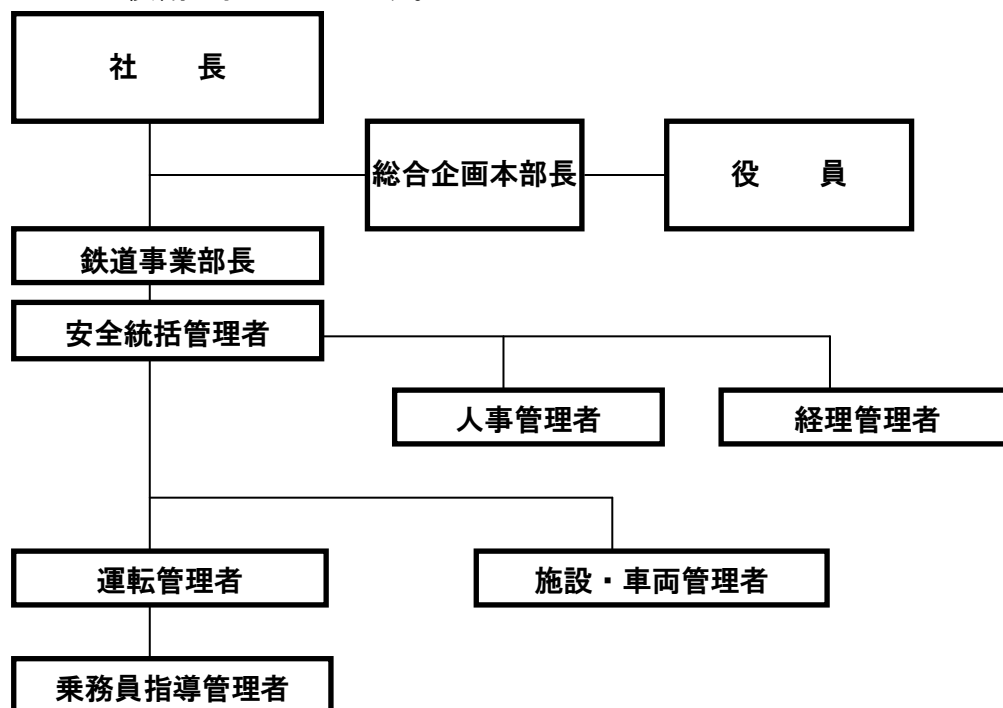
列車妨害行為は、線路への置石・物の放置・列車への投石などがあり、平成23年度は置石が4件発生しています。これらは、列車往来危険罪の犯罪行為となり、列車の脱線や非常ブレーキによる負傷者の発生など大事故に繋がりがねません。

妨害事案が発生した場合は、鉄道警察隊・警察と連携し再発防止の巡回強化や学校など関係機関への指導要請を行っています。

5. 安全管理体制・安全マネジメント

(1) 安全管理体制

当社では、社長をトップとする安全管理体制を構築・運用しています。この体制の中で、安全統括管理者、運転管理者、施設・車両管理者、乗務員指導管理者、人事管理者、経理管理者がそれぞれの責務を明確にした上、安全確保のための役割を担っています。



(2) 安全マネジメント

年 4 回の鉄道運輸安全マネジメント推進会議を四半期ごとに開催し、輸送状況、運転事故・輸送障害・ヒューマンエラーの分析、再発防止対策の検討を行い、結果を周知し実践するとともに、四半期毎の安全重点目標を設定し、安全管理を行っています。



経営トップによる巡回

6. 平成 24 年度の輸送の安全確保

一人一人が安全輸送のため、更なる知識・技能のレベルアップを目指し、目標「有責事故ゼロ」の継続を掲げ、これを達成するための方針「安全・安心を提供するため、一致協力して輸送の安全確保に努めます。」を立て、取り組んでいます。

7. 利用者・住民の皆さまとの連携とお願い

(1) テロ対策へのご協力のお願い

当社では、ゴールデンウィーク・夏山の繁忙期・年末年始などにテロ防止対策として、列車内・駅構内・沿線の巡回を実施しています。

不審物などを見かけた際は、鉄道係員または警察へご一報をお願いします。



(2) イベントの開催による事故防止PR活動

地域住民と協働で「上高地線ふるさと鉄道まつり」・「親子電車体験」などのイベントを開催し、鉄道に対しての親しみやご理解、置石等の列車妨害禁止や事故防止に努めて頂けるようPR活動を行っています。



イベント風景

(3) こども110番の駅

当社では、日本民営鉄道協会と連携し、子供が助けを求めてきた場合、子供を保護する「こども110番の駅」としての取組みを行っています。

実施駅

- ・ 波田駅
- ・ 新島々駅



©2009 Gullane(thomas)Limited

（４）踏切事故防止についてのお願い

本年度も、踏切への無理な進入のため遮断かんの折損・トリコ（注）などの事案が発生しています。踏切事故防止のため、踏切の手前では必ず一旦停止の上、左右を確認していただくとともに、警報機が鳴り始めましたら踏切内へ進入しないよう皆さまのご協力をお願い致します。



踏切でのトリコ状態

踏切内及びその周辺で異常事態・非常事態が発生した場合は、新島々駅（0263-92-2511）までご連絡ください。

注 トリコとは、遮断かんが降下中に自動車等が踏切に進入し、踏切内に閉じ込められる状態のことをいいます。

（５）線路近接工事についてのお願い

鉄道線路沿いには高圧電線等が架設されており、接触すると作業員の方の人命にかかわるほか列車の運休や遅延等が発生し、多くの皆様の迷惑となります。

また、感電事故だけでなく線路脇物品の倒壊や鉄道施設の損傷等により列車の運行に支障をきたすことがあります。

上高地線の近くで工事の施工を計画している施主・施工者の皆様におかれましては、お早めにアルピコ交通(株)鉄道事業部（0263-26-7311）までご連絡をいただきますようよろしくお願い致します。

安全報告書へのご意見に対する連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

アルピコ交通株式会社 鉄道事業部
TEL. 0263-26-7311（直通） E-mail matsuden-tetsudo@alpico.co.jp ■月～金 8：50～17：30（祝休日を除く）